

協働のまちづくり 第54回

宗像のシンボル カノコユリを再生したい

これまで、そして、これから

市民と一緒にまちづくりを進めるため、平成19年度から始まった「市民サービス協働化提案制度」。これまで30事業を、市に代わって市民活動団体などが実施しています。

今回は、ふるさとの水と緑を守り、住みよい生活環境づくりを目的に設立して20周年を迎え、市との協働で市の花「カノコユリ」の再生事業に取り組んでいる、むなかた「水と緑の会」を紹介しつづけます。

■問い合わせ先
市民活動交流室 ☎(36) 0311

市の花を
絶滅させては
いけない

「市の花・カノコユリを市内ではほとんど目にできないのは寂しい限りです。カノコユリは絶滅危惧種と聞いています

が、決して絶やしてはいけな
井博美市長。カノコユリの保存・繁殖活動を自らのマニフェストにも掲げています。

これに呼応したのが、むなかた「水と緑の会」でした。協働化提案制度に、市の花「カノコユリ」再生事業として手を挙げたのです。会長の福島敏満さん(59歳・自由ヶ丘)と「花と緑部会」の吉田

博美さん(63歳・東郷)もカノコユリに対する思いは谷井市長と同じでした。博美さんは以前、県の農業改良普及職員として昭和49年から宗像地区を担当。花に
また、幸いにも、吉田さんの前任者(県職員)も宗像市在住で、カノコユリの詳しい資料を残してくれていました。

資料によると、「昭和40年代前半には河東地区・山田の畑やカノコユリへの思いを語る



カノコユリへの思いを語る 吉田さん

数年間、鹿児島県の甕島(こしきじま)から球根を取り寄せ、公共施設や一般家庭などにカノコユリを普及させようとした。しかし、管理の方法などを伝えることができず、うまくいきませんでした。

「カノコユリを育てるには、種からだ」と4〜5年かかるため、通常は球根の状態を流通していき、球根だと翌年の夏には花が咲きます。球根を植える場所は、赤土で、ある程度水分を含み、水はけが良い土壌を好むようです」と吉田さん。

「カノコユリを育てて増やすためには、管理の方法を学ぶことが必要です。当然、植える場所も重要になります」と吉田さん。このことに気がつ

「カノコユリを育てて増やすためには、管理の方法を学ぶことが必要です。当然、植える場所も重要になります」と吉田さん。このことに気がつ

けなければ、普及は難しいそうです。そこで、今回の再生事業では、コミュニティ・センターなどの公共施設で植付けと管理方法の講習会を計画。吉田さんは「日々の管理を施設管理

者や地域住民にお願いすることで、花と緑を増やす活動につながり、環境保全意識の高揚につながるのでは」と期待しています。市の花がカノコユリであることと、世界でも希少品種であることを市民のみなさんに知ってほしい願いも込められています。

「カノコユリを育てて増やすためには、管理の方法を学ぶことが必要です。当然、植える場所も重要になります」と吉田さん。このことに気がつ

「カノコユリを育てて増やすためには、管理の方法を学ぶことが必要です。当然、植える場所も重要になります」と吉田さん。このことに気がつ

「カノコユリを育てるには、種からだ」と4〜5年かかるため、通常は球根の状態を流通していき、球根だと翌年の夏には花が咲きます。球根を植える場所は、赤土で、ある程度水分を含み、水はけが良い土壌を好むようです」と吉田さん。

「カノコユリを育てるには、種からだ」と4〜5年かかるため、通常は球根の状態を流通していき、球根だと翌年の夏には花が咲きます。球根を植える場所は、赤土で、ある程度水分を含み、水はけが良い土壌を好むようです」と吉田さん。

「カノコユリを育てるには、種からだ」と4〜5年かかるため、通常は球根の状態を流通していき、球根だと翌年の夏には花が咲きます。球根を植える場所は、赤土で、ある程度水分を含み、水はけが良い土壌を好むようです」と吉田さん。

「カノコユリを育てるには、種からだ」と4〜5年かかるため、通常は球根の状態を流通していき、球根だと翌年の夏には花が咲きます。球根を植える場所は、赤土で、ある程度水分を含み、水はけが良い土壌を好むようです」と吉田さん。



メイトム宗像の庭に咲くカノコユリ

「新会員を増やしたい。このことをきっかけに、水と緑の会に入会してもらい、宗像の自然環境保全に協力してもらいたい」と話していました。現在10地区のコミュニティ運営協議会や市民活動団体から、今回の水と緑の会の取り組みに協力したいと話があつてい

「きちんと管理をできる人を地域に増やしていくことが必要。まずコミュニティ地区ごとに学習をお願ひし、その効果で各家庭に広がっていくことが理想です」と吉田さん。会長の福島さん

「カノコユリを育てるには、種からだ」と4〜5年かかるため、通常は球根の状態を流通していき、球根だと翌年の夏には花が咲きます。球根を植える場所は、赤土で、ある程度水分を含み、水はけが良い土壌を好むようです」と吉田さん。

「カノコユリを育てるには、種からだ」と4〜5年かかるため、通常は球根の状態を流通していき、球根だと翌年の夏には花が咲きます。球根を植える場所は、赤土で、ある程度水分を含み、水はけが良い土壌を好むようです」と吉田さん。

「カノコユリが一般家庭の庭先でも見られる日が来るのも、そんなに遠くないかもしれません。」
【おわり】
メイトム宗像 館長・立石実

まるで個人情報を 入手したかのよう ワンクリック請求が 急増!

宗像市消費生活センター
転ばぬ先の杖
☎(33)5454
でばんぢちゃん



消費生活センターに寄せられる相談の中で、パソコンや携帯電話のサイト画面を一度クリックしただけで請求画面になる「ワンクリック請求」に関する相談が後を絶ちません。



事業者は、申込者がインターネットの申込内容を容易に確認・訂正できる画面を設定する必要があります。

「慌てて業者に連絡することは避けましょう。個人識別番号から個人情報や連絡先が伝わることはありません。電話やメールで業者へ連絡をすることで個人情報を業者に知らせることになりません。」

驚いて前のページに戻ると、画面の一番下に利用規約があり、「利用料金9万円」という記載があった。支払わなければならないのか?

「不安にクリクしないようにしましょう。最近では、アダルトサイトだけでなく占いサイトや芸能人情報サイト、ゲームサイトなど、さまざまなサイトからアダルトサイトにつながるこ

「慌てて業者に連絡することは避けましょう。個人識別番号から個人情報や連絡先が伝わることはありません。電話やメールで業者へ連絡をすることで個人情報を業者に知らせることになりません。」

多重債務電話相談

■ 県弁護士会 毎週土曜日 10:00~13:00 * 祝日は休み ☎092(721)6778	■ 福岡財務支局 毎週月~金曜日 9:00~17:00 * 年末年始、祝日は休み ☎092(411)7291
---	--